

経営改革プラン平成21年度計画

社会福祉法人 薩摩川内市社会福祉協議会

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
① 事務事業の見直し	1 事業の廃止を検討する事業 (2事業) ①老人活動事業〔18年度まで〕 :市老連の自主運営化 ②宮里児童館受託運営事業 [19年度まで] :市での本児童館の事業廃止 2 他の団体や民間へ移管する事業 [18年度まで] (2事業) :サン・アビリティーズ川内受 託運営事業、屋内ゲートポー ル場受託運営事業 3 統合する事業〔19年度まで〕 (1事業) :ふくしのまち推進事業(極脇 支所のみが実施している事業) 4 内容を見直す事業〔19年度まで〕 (3事業) :総合福祉会館・センター管理 運営事業	1-①老人活動事業〔18年度まで〕 :市老連の自主運営化 1-②宮里児童館受託運営事業 :市での本児童館の事業廃止 2サン・アビリティーズ川内及び屋内 ゲートポール場はNPO法人が受託 済み 3ふくしのまち推進事業を地域福祉 活動事業へ整理統合。 4総合福祉会館・公衆浴場廃止済 訪問給食事業・入来初答院地区 統合済み 心配ごと相談事業開設回数の調整 縮小。 総合福祉会館管理基金の取崩し。	4 内容を見直す事業 ①総合福祉会館の活用策の検討、実施 談話休憩室・図書室・調理室の利用 率を上げる。 ②一般募金配分金事業について、共通 事業化に向け調整を図る。 上期 5 新たな事業への取組 ①4月から飯島敬老園の指定管理を受け、 職員確保など、困難な問題等も山積 しているため、確保案を検討する。 ②地域福祉活動計画素案を策定委員会に 図り活動計画書を策定する。	4-①総合福祉会館の談話休憩室等の改修計画 を作成した。今後改修計画を執行していく。 4-①談話休憩室・調理室は、子育てサロンや育 児サークルの利用により活用がなされてい る。 4-①ボランティアセンター室の設置場所の検討 4-②一般募金配分金事業については、共通事業 と個別事業に分けて調整を図っている。 5-①嘱託員の確保が予想以上に困難であり、処 遇改善等図りながら職員不足の解消を図 る。 5-②地域福祉活動計画書の策定 21.9策定済み
			(継続実施) 下期	4-①総合福祉会館の談話休憩室等の改修工事 が完了し、会館利用者に大変喜ばれている。今 後は広報紙等で活用を促したい。 4-①平成22年度から現在の小会議室をボラン ティアセンター室に変更し、ボランティア活動事業 をより一層推進していくこととした。 4-②一般募金配分金事業については、引き続き 調整を図る。 5-①嘱託員の確保のために、処遇改善等を図り 職員不足の解消に努めた。 5-②地域福祉活動計画書の策定 完結
② 財政の健全化	1 サービス提供に応じた受益者負担 のあり方や金額の見直し ①社協会費の統一(19年度から300 円) ②総合福祉会館の使用料と減免規 定の見直し(19年度までに) 2 各種協議会や総会等への関与や ITを活用した業務効率化による 経費削減 ①公用車の任意保険の見直し (18年度中) ②IP電話の導入、会計システム のオンライン化(20年度までに) ③介護保険事業にかかるソフトの 統一化(22年度) ④各種福祉団体に対する補助金の 見直し 3 事業の方針や組織・定員等の計画 と併せた人件費の適正化	1-①社協会費を300円に統一 1-②総合福祉会館管理運営規程の 使用料と減免規定を見直した。 2-①公用車任意保険の保険会社を 統一し、切替時期も本・各支所ご とに統一済み -②本・支所間のネットワーク及び 財務会計システムオンライン化 (20年1月稼働) -③介護保険事業にかかるソフトの 統一(20年2月統一) 3 19年1月新給与制度の導入 「3号昇給に抑制」	1-②改正後の薩摩川内市総合福祉会館 管理運営規程を活用し、利用者増を図り、 安定収入を目指す。 上期	1-②総合福祉会館管理運営規程の使用料の見 直しにより、利用者増が図られた。 H20.4～H20.9 会館利用者 425団体 8,336人 H21.4～H21.9 会館利用者 496団体 9,748人 対前年比 116.9%
			(継続実施) 下期	1-②総合福祉会館管理運営規程の使用料の見 直しにより、利用者増が図られた。 H20.4～H21.3 会館利用者 837団体 17,273人 H21.4～H22.3 会館利用者1,008団体 18,337人 対前年比 106.2%

経営改革プラン平成21年度計画

社会福祉法人 薩摩川内市社会福祉協議会

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
③ 組織の見直し・職員配置・定員管理の適正化	<p>1 役員構成、役職員、市の派遣職員のあり方の見直し</p> <p>①平成20年度の役員改選に向けた定数のあり方の検討</p> <p>②正規職員を21年度までに2名削減、25年度までに4名の削減</p> <p>2 本所・支所のあり方を含む重複する部門や機能統合による組織のスリム化</p> <p>①里支所、上甕支所の統合(平成19年度)</p> <p>②総務部門を本所に整理・統合し、機能を強化</p> <p>3 事業推進の強化のための有資格者等の育成・採用など</p> <p>①介護福祉士の資格取得者の育成による介護保険事業の推進</p>	<p>2-①里支所・上甕支所の統合</p> <p>2-②法人職員の人件費等を本所管理とした。</p> <p>-③本・支所間の介護保険事業の集約、効率化に向け、居宅介護支援事業所の統廃合等介護事業所の集約、効率化に努めた。</p>	<p>上期</p> <p>2-①甕島地域の介護事業のあり方を検討する。</p> <p>②総務部門を本所に整理、統合出来ないか検討する。併せて全体的な組織の見直しを検討する。</p> <p>3-①介護保険事業の充実推進のため、介護支援専門員、介護福祉士等の有資格者の育成及び確保に向けて研修助成制度の検討をする。</p>	<p>2-①甕島地域の介護事業のあり方</p> <p>・介護事業所の統合を計画的に実施し、効率的な経営を図った。</p> <p>・鹿島支所居宅介護支援事業所を甕島敬老園に統合 21.10.1</p> <p>2-②樋脇支所訪問入浴介護事業所を本所に統合 21.4.1</p> <p>・樋脇支所訪問介護事業所を本所に統合 21.10.1</p> <p>3-①研修費助成要綱を作成研修費助成をし、有資格者の育成及び確保を図る。H22.4.1施行</p>
			<p>(継続実施)</p> <p>下期</p>	<p>2-①・介護事業所の統合を計画的に実施し、効率的な経営を図る。</p> <p>・鹿島支所居宅介護支援事業所を甕島敬老園に統合した。 21.10.1</p> <p>2-②・樋脇支所訪問入浴介護事業所を本所に統合した。 21.4.1</p> <p>・樋脇支所訪問介護事業所を本所に統合した。 21.10.1</p> <p>3-①研修費助成要綱に基づく研修費助成をし、有資格者の育成及び確保を図った。</p> <p>H21年度新規資格取得状況 社会福祉士 2名 介護支援専門員 5名 社会福祉主事 1名</p>
④ 人事制度の確立	<p>1 社協に応じた新たな人事制度の検討</p> <p>①法人運営・受託事業・介護保険事業等、業態に応じた給与体系に統一</p> <p>②能力、成果による昇格など新たな人事制度の確立</p> <p>2 プロパー職員の人材育成計画及び必要な研修の実施</p> <p>①経営意識をもった幹部の育成</p> <p>②専門性を伴う受託事業や介護保険事業などの重点事業を推進するための積極的な研修</p>	<p>1-① 介護保険事業のヘルパー・寮母等を技能労務職に統一した</p>	<p>上期</p> <p>1-②能力成果による昇格など新たな人事制度の確立を目指し検討する。</p>	<p>1-②能力成果による昇格など新たな人事制度の確立を目指し検討した。</p> <p>引き続き有資格者等の人事交流を図りながら、新たな人事制度を確立する。</p>
			<p>下期</p> <p>2-①+②人材育成を図るため、研修制度について検討する。</p>	<p>2-①②役員(理事・監事)については研修会への参加を促し、経営意識を持った役員の育成に努めた。職員については、積極的に研修に参加させ研鑽に努めた。</p>

# 経営改革プラン平成21年度計画

# 社会福祉法人 薩摩川内市社会福祉協議会

経営改革プラン取組項目		過去の取組実績 (平成18～20年度)	平成21年度取組計画		
項目	内容		取組内容	実績	
⑤ 経営状況の点検、評価	1 第三者機関による外部評価や専門家による経営診断の実施 2 成果目標を設定した業務評価のしくみの検討など		上期	1 外部評価や経営診断の実施の検討 2 成果目標を設定した業務評価のしくみの検討	1 外部評価や経営診断の実施の検討 ・下期で実施 2 成果目標を設定した業務評価のしくみの検討 ・検討中
			下期	(継続実施)	1 経営診断を実施 2 経営診断を次期経営改革プランに反映させたい。
⑥ 経営情報等の公表、情報保護対策	1 市広報紙や市ホームページによる財務諸表や事業内容、事業計画等の公表、情報公開 2 個人情報保護法に準じた規約の整備や体制、対策の整備など	2 個人情報保護規程の制定	上期	1 社協ホームページの本年度開設を目指す。	1 社協ホームページ作成 21.10中旬 一般公開予定
			下期	(継続実施)	1 社協ホームページ及びブログ公開中
上期 総括	<p>上期の主な取組としては、総合福祉会館運営規程等の使用料見直しにより、会館利用が増加傾向にある。また、談話休憩室等の改修計画を作成した。本年4月からの甕島敬老園の指定管理により、職員採用事務等かなりの比重を占めた。諸介護事業所の規程整備を図った。住民アンケート調査や住民座談会を開催し、その意見等を踏まえながら、地域福祉活動計画策定委員会で意見交換し、検討して「地域福祉活動計画」を策定した。社会福祉協議会のホームページを作成した。今後公開を予定。</p>				
下期 総括	<p>下期の主な取り組みとしては、総合福祉会館改修工事及び福祉バス(すこやか京セラ号)の購入等を行った。懸案事項であった、ホームページの作成及び公開、経営診断の実施等概ね達成した。平成22年度からボランティアセンター室も設け気軽にボランティアの方々が利用し、ボランティアの育成を図りたい。</p>				